

## 2010年度採択 研究推進プログラム「基盤的研究」研究成果報告書

研究代表者	所属機関・職名：産業社会学部教授 氏名： 小澤 亘
研究課題	学校不適応外国人児童の支援に関する研究：滋賀県における日系ブラジル人児童に注目して

### ・研究計画の概要

研究の計画について、概要を記入してください。

本研究は、社会学的なアクションリサーチの手法によって、多文化共生社会構築に向け、DAISY という革新的情報技術に依拠した外国籍児童の教育支援の新たな在り方を具体的・実践的に提起することを目指していく。

- 1) 滋賀県における日系ブラジル人学校、ボランティア・支援団体、行政、そして、外国人児童を迎え入れている学校を対象として、外国籍児童に向けた教育支援が置かれた状況が、2008年9月以降、急激に悪化している現状を関係者に対するインタビュー調査により把握する。
- 2) それと並行して、湖南市教育委員会と連携して、初級日本語教室「さくら教室」をフィールドとして、小学生を対象とする DAISY 教材を開発し、その有効性を検証していく。さくら教室担当の日本語教員と密接に連携し、3か月カリキュラムの DAISY 化を推進する。
- 3) 上記ネットワークに依拠して、学校に通えていない外国籍児童に対する DAISY 教材による教育支援体制構築の可能性を模索していく。
- 4) 日系ブラジル人児童以外の外国籍児童、すなわち、中国語系、スペイン語系、その他のケースにおいても、DAISY 教材の開発を行い、それぞれのケースにおいて、その利用の可能性を検証する。
- 5) すでにネットワークを形成しつつある機関を含む、全国の諸機関と連携して、社会的発信に努めていく。

### ・研究成果の概要

研究成果について、概要を記入してください。

本年度は、初級日本語教室「さくら教室」との連携によって、その3か月カリキュラムの多言語 DAISY テキスト化に取り組んだ。日本語とポルトガル語、スペイン語、英語、中国語、タガログ語各言語との2言語 DAISY テキストを作成した。その内容は、基本語570語程度のフラッシュカード、90程度の基本動詞と基本構文、小学校国語教科書から8篇の多言語 DAISY 化である。これらは、日本語学習のための多言語 DAISY テキストとして、日本初のものとなる。

また、2010年11月9日には、「さくら教室」において、多言語 DAISY テキストにもとづく研究授業発表を湖南市の日本語教員15名を招聘して実施した。この模様は、当日の琵琶湖テレビのニュース番組にて、取り上げられた。その後、水戸小学校にて、参加者の研究会に出席し、成果報告を行った。

それに先立って、9月20日に開催された草津市多文化共生フェスティバルにおいては、報告ブースを設営し、多くの来場者に、本プロジェクトの取り組みと実践を体験してもらうとともに、アンケート等も実施した。

これと並行して、多文化共生支援センター、ブラジルアミーゴクラブ、アジアブラジル学園、サンタナ学園等関係者に対して、インタビュー調査を実施した。